



今年度は算数科の課題克服に向け、算数プリントを作成。「標準」「習熟」「文章題」3種類の問題を全学年分用意し、朝学習の充実を図っている。

## ② 学習環境を整えるために

上記の取組にあたり、「誰が」「いつ」作成するのが課題となってきた。そこで本校では、事務職員が学校運営に積極的に参加するための校務分掌組織を活用できないかと考えた。実施に向けて、管理職、主幹教諭、教務主任、学習力向上部、事務職員（2名）にて協議を重ねた。結果、予算面を含めた計画づくりから問題印刷まで、新たなミッションを担う事務職員が中心となり業務を進められたことにより、学級担任の負担がなく、短期間でのプリント作成と計画した朝学習実施に迅速に対応できた。

## ③ 日常の授業等でも積極的に活用できるように

この学習プリントの最大の特徴が、朝学習のみならず、授業時間及び宿題等でも必要な問題だけを活用できた点にある。本校は、算数科において「教えて考えさせる授業」の実践を行っているが、学習過程後段の「深化問題」において、この学習プリントは効果的に活用された。また、指導者が家庭の協力を得て購入した問題集の内容すべてに取り組みなければならないという思いから解放され、必要な問題のみを使用できた。このことにより指導者が意図した問題で確実に児童に力を身に付けることができたと同時に、児童自身、家庭学習等で積極的に活用できることも利点の一つである。これらのことから、この取組が、本校では積極的に行われることとなった。



職員室にある引き出しから必要な問題をファイリング



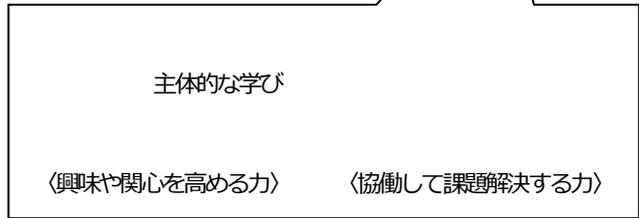
朝学習の時間に算数プリントに取り組む6年生の様子

## (2) 日常の授業改善

### ① ピクトグラムの活用

本校では、単元の指導計画等の中で独立行政法人教職員支援機構のピクトグラムを活用し、「主体的・対話的で深い学び」のどの部分に関わりのある時間なのかを明確にしている。「指導事項」「言語事項」「児童の実態」を考慮し「身に付けさせたい力」をもとに授業をデザインすることで、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりの推進につながった。

時	学習活動	◎評価場場 ☆評価方法	主体的・対話的で深い学びの目標付け<身に付けさせたい力>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の学習の知識しをもつ、</li> <li>動機を醸成、作品と出会う、</li> <li>登場人物を確かめ、話の筋法を捉える。</li> </ul> ④ お話の つづきを 書こう。 ⑤ お話の あらすじをつかみ はじめのかんそうを書こう。	◎興味をもって作品を読み、登場人物のしたことを捉え、興味・関心を高めることができる。 ◎ 発言（観察）・ノート	主体的な学び <興味や関心を高める>
2	⑥ お話の つづきを 書こう。 ⑦ お話の あらすじをつかみ ⑧ お話の かんそうを書こう。	◎おもしろいところ、おもしろいところを 変えよう。 ◎おもしろいところ、おもしろいところを 変えよう。 ◎おもしろいところ、おもしろいところを 変えよう。	対話的な学び <興味や関心を高める>
4	◎全文を音読する。(役割り読み) ◎読の順序を確かめながら、おにの子の行動と気持ちを整理しながら読む。	◎登場人物の様子や気持ちを表す言葉を捉え、場面の変化や移り変わりに対応して、おにの子の様子を読んでいる。 ◎ 発言（観察）・ノート	対話的な学び <興味や関心を高める>
5	◎ 帰りに、おにの子が「したこと」、「考えたこと」をせいのしよう。		
6			
7			
8	◎おにの子とわにのふしむきんの気持ち	◎おにの子とわにのふしむきんの気持ち	



## 3 おわりに

以上のような取組は、当初、国語科に絞って実施した。この「組織的な学校改善～学力向上の取組」の結果、全国学力・学習状況調査や教研式標準学力検査CRT等から、確実に本校児童の国語科の学力向上が図られたと分析された。

今年度は新たに算数科において、全教職員で児童の実態を再度見つめ直し、具体的な策を見出し、組織としての取組の充実を図っている。本校では、今後も取組に対する評価・改善を重視し、児童の学力向上に努めていきたいと考えている。